

NPOとの協働で成長する企業

鬼塚電気工事株式会社 × 特定非営利活動法人 おおいた環境保全フォーラム

case
1
(全3回)



工務部
今満 樹利さん
Imamitsu Juri



総務部
近藤 文香さん
Kondo Fumika



理事長
内田 桂さん
Uchida Kei

鬼塚電気工事株式会社
(大分市)

特定非営利活動法人
おおいた環境保全フォーラム
(大分市)

IT/IoT技術に精通した電気工事・通信工事・管工事の3分野を中心に、大分市で事業を展開。「省エネ」と「創エネ」を組み合わせた、エネルギー収支0%以下を実現する「ZEB」(ゼロエネルギービル)で、BCP電源対策を施した津波避難ビルでもある社屋を建設。発信拠点として活用し、脱炭素社会の実現に取り組む。

希少動植物の保護と特定外来種の防除調査や研究など、森から海へと続く環境保全に関する幅広いプロジェクトに取り組む。

NPOと協働するメリット

少子高齢化や価値観の多様化に伴い、活動の幅を広げるNPO、企業は、地域に入り込んで活動を行うNPOと協働することで、多岐にわたる地域の課題にいち早く気づくことができます。企業とNPOが互いの強みを生かすことは、社会の課題解決の糸口になり、ひいては企業のさらなる成長にもつながります。

子どもの目線に立って環境を守る大切さを伝える

今春入社した今満さんと近藤さんが向かった先は、田ノ浦ビーチやレストハウスで行われた海の環境啓発イベント「SDGs キッズアカデミア」を主催する「おおいた環境保全フォーラム」だ。同団体は豊かな大分の自然を将来の世代に残すための保全活動に取り組んでいる。

今回のイベントは、ウミガメ飼育体験や海岸で集めたプラスチックゴミを使った海プラアートワークショップを通して、海の環境の現状を知ってもらうことが目的だ。「体験する2名には、環境保全の現状と、営利を目的とせず公益性の高いNPOの仕事の大切さを少しでもわかってもらえ

たら」と理事長の内田さんは話す。

まず行ったのは、海岸の漂着物調査体験やイベントのウミガメ飼育体験に向けた準備。近藤さんは漂着物の中からワークショップに使うためのプラスチックのゴミを選別、今満さんはウミガメの水槽用の海水を何度も汲み上げた。「SDGs キッズアカデミア」当日は、ビーチクリーンの後、ウミガメの生態系に関する教室で事前に勉強した内容を子どもたちへ説明した。さらに、ウミガメ放流準備のための餌やり体験や体重測定、海洋プラスチックゴミを使った海プラアートのワークショップでも子どもたちのサポートを行った。



ウミガメ保全を通じ、未来の環境を考えるきっかけに

「思っていたよりも砂浜が汚れていることに驚いた。自分の仕事である電気工事でもボランティアも困った人を助けるという意味では一緒なので、これからも意識を高くもって社会活動を続けていけたら」と今満さん。

近藤さんも「海岸には魚が飲み込むと危険な漁具やプラスチックのゴミが想像よりもはるかに多く、そのほとんどがリサイクルできず燃やされていることを知った。持続可能な社会を実現するためにも、たくさんの人にこの現状を知ってもらうことが大切だと思う。今ウミガメを放流しても、日本に戻ってくるまで30年もかかるそうだが、海

洋ゴミによって近い将来、ウミガメが絶滅してしまうかもしれないという事実は子どもたちに環境のことを考えてもらいやすいと思った」と語り、続けて、「次世代のためにも、ゴミ拾い早く身近なところから日々取り組むという意識を持ち、会社で取り組んでいる脱炭素社会の実現にもつなげていきたい」とその目を輝かせた。



次回掲載日

「NPOとの協働で成長する企業②」

2022年11月25日(金)

information

企業とNPOの協働推進セミナー 2022 開催!

参加
無料

多様な主体との協働がつなぐ地域の創生

オンライン同時配信
(Zoom)

～ ESGでOITAの未来を創る!～

【開催日】12/21(水)

【時間】13:30～16:00

【会場】J:COMホール大分3階 大会議室

お問い合わせ

公益財団法人おおいた共創基金
TEL・FAX 097-556-3116

参加申込はこちらから

※申込期限

12/12(月)まで



◆講演

「なぜ協働なのか?」
ステークホルダー資本主義が
意味すること」

講師:河川 眞理子氏
(立教大学特任教授)



◆参加企業による

「NPO現場体験活動」報告

協働のヒントを探してみませんか?

おおいたNPO情報バンク

おんぼ



県内のNPO情報を
集約したポータルサイトです。
ぜひ、ご活用ください!

NPO活動している若者たちを
YouTubeで発信します!

『あなたは何しに
NPOへ?』

おんぼ

令和4年11月～12月にかけて7団体を紹介



NPOとの協働で成長する企業

九州労働金庫 大分県本部 × 特定非営利活動法人 地域ひとネット

case
2
(全3回)



業務推進課 課長
甲斐 邦裕さん
Kai Kunihiro



業務推進課 代理
村上 祐樹さん
Murakami Yuki



代表理事
谷川 真奈美さん
Tanigawa Manami

九州労働金庫 大分県本部
(大分市)

働く仲間がつくれた(目的)、営利を目的としな
(運営)、生活者本位に考える(運用)協同組織の福祉
金融機関として、「人々が喜びをもって共生できる
社会の実現に寄与する」という理念を実現すると
ともに、NPO助成制度などにも取り組んでいる。

特定非営利活動法人
地域ひとネット
(大分市)

コミュニケーションツール「ふれあい
囲碁」を活用した訪問、講座などの地域
づくり人づくり事業、地域課題に取り組み
団体への中間支援事業を柱に活動。災害時
要配慮者支援体制構築事業「おおい
い」でんわプロジェクトにも取り組む。

NPOと協働するメリット

少子高齢化や価値観の多様化に伴い、活動の幅を広げるNPO。企業は、地域に入り込
んで活動を行うNPOと協働することで、多岐にわたる地域の課題にいち早く気づくこ
とができます。企業とNPOが互いの強みを生かすことは、社会の課題解決の糸口になり、
ひいては企業のさらなる成長にもつながります。

年齢や立場を超えた交流から見えてくる世界

「九州ろうきんNPO助成」や会費・寄付金のNPO
振込手数料免除などに取り組んでいる「九州労働金
庫」。甲斐さんと村上さんは、NPOの活動現場や行
政との連携を知り、さらに企業としてできることを
考える「はじまり」にしたいと「地域ひとネット」を
訪れた。同法人は、「ふれあい囲碁」を活用した地域
づくり人づくり事業や災害時要配慮者支援構築
などの活動を行っている。

まず、災害支援事業の一環として、大分市の府内
五番街商店街で行われた「まちなか防災ワーク
ショップ」に参加。被災経験者によるオンライン防災
講座を受講後、グループに分かれて商店街関係者や

行政職員などとワークショップを行った。2名は
ファシリテーターとして、防災の観点から地域の連
携や役割分担の大切さといった意見をまとめた。

村上さんは「商店街の方のほかに行政からの参加
もあり、年齢や立場が違う人の意見を聞くことで災
害の備えに対する意識が変わった。当庫はNPOへの
助成制度があるので、NPOの活動を体験すること
で、融資や助成制度を申し込む団体への聞き取りを
踏み込んでできるきっかけになった。今後もっと
制度を活用してもらいたいが、そのためのヒントも
得られた」と語った。



地域の人に寄り添い、リアルな声を聞く大切さを学ぶ

各地域での公民館事業に役立てることを目的に職
員研修として開催された「ふれあい囲碁」講座では、
事前にレクチャーを受け、リーダーとして参加した。

「防犯や防災の観点から地域の人同士のつながり
が大切。公民館事業を通して地域住民のコミュニ
ケーションを深め、不測の事態に備えた連携を確保
していくことが目的」と代表理事の谷川さんは話す。

「ふれあい囲碁」は同法人独自のコミュニケー
ションプログラムで、誰もが一緒に参加できる基本
ルールを共通言語とし、年齢や性別、障がいの有無や
国籍の違いといった垣根を超えて、広くコミュニ
ケーションを図り、人との関わり方を体験できる。

「共通言語を通じて、参加者たちとスムーズに
コミュニケーションを図れることに気づいた」と

村上さん。甲斐さんは「人とのつながりは企業、地域、
その他いろいろな場でも大事。ふれあい囲碁は社内
でも行い、コロナ禍で希薄になった社内コミュニ
ケーションに役立ててみたい」と話し、続けてNPOの
活動について「利害関係なく地域の人と同じ目線に
立って行動しているNPOに触れ、地域の人々に寄り
添いリアルな声を聞き、本音で向き合うことの大切
さを学んだ。今後の仕事を進めるうえで心がか
けたい」と笑顔で語ってくれた。



次回掲載日

「NPOとの協働で成長する企業③」

2022年12月2日(金)

information

企業とNPOの協働推進セミナー 2022 開催!

参加
無料

多様な主体との協働がつなぐ地域の創生

オンライン同時配信
(Zoom)

～ ESGでOITAの未来を創る!～

【開催日】 12/21 水

【時間】 13:30～16:00

【会場】 J:COMホール大分
3階 大会議室

お問い合わせ

公益財団法人おおいの共創基金
TEL・FAX 097-556-3116

参加申込はこちらから

※申込期限
12/12(月)まで



◆講演

「なぜ協働なのか?
ステークホルダー資本主義が
意識すること」

講師: 河口 眞理子氏
(立教大学特任教授)



◆参加企業による

「NPO現場体験活動」報告

協働のヒントを探してみませんか?

おおいのNPO情報バンク

おんぼ

県内のNPO情報を
集約したポータルサイトです。
ぜひ、ご活用ください!

NPO活動している若者たちを
YouTubeで発信します!

『あなたは
なにに
NPOへ?』

おんぼ

令和4年11月～12月にかけて7団体を紹介



NPOとの協働で成長する企業

大分航空ターミナル株式会社 × 特定非営利活動法人 BEPPU PROJECT

case
3
(全3回)



総務部 総務人事課リーダー
田中 梨絵子 さん
Tanaka Rieko



代表理事
中村 恭子 さん
Nakamura Kyoko
特定非営利活動法人
BEPPU PROJECT
(別府市)

大分航空ターミナル株式会社
(国東市)

1956年設立。1971年に安岐町の大分空港ターミナルビル完成にともない、売店、レストラン及びビル管理運営業務へ事業を拡大。航空部門としては、航空機による運送代理店業を中心に、航空事業者、航空旅客及び航空貨物に対する業務並びに施設を提供している。

別府市を拠点に、現代芸術の紹介や普及、フェスティバルの開催や地域性を活かした企画の立案、人材育成、地域情報の発信や商品開発、ハード整備など、さまざまな事業を実施。アートが持つ可能性の普遍化を目指し、アートを活用した魅力ある地域づくりに取り組む。

NPOと協働するメリット

少子高齢化や価値観の多様化に伴い、活動の幅を広げるNPO。企業は、地域に入り込んで活動を行うNPOと協働することで、多岐にわたる地域の課題にいち早く気づくことができます。企業とNPOが互いの強みを生かすことは、社会の課題解決の糸口になり、ひいては企業のさらなる成長にもつながります。

アートを通して、地域を活性化する創造力

学生時代、美術部に所属していた「大分航空ターミナル」の田中さんは、別府市を拠点にアートによる地域づくりに取り組んでいる「BEPPU PROJECT」の活動に参加した。大分市から国東市への遠距離通勤や2人の子育てなど多忙な田中さんだが、現場体験を希望した理由を「紙媒体の『旅手帖 beppu』が好きで、同団体が『国東半島芸術祭』も手がけていると知り、地域性を生かした企画立案の進め方を見てみたかった」と明るく話した。

体験初日はまず、同じく現場体験として参加した行政職員とともに、代表理事の中村さんの事業レクチャーを受けた。「アートは自由なもの見方や考え方を促す媒体として、私たちに『気づき』をもたらし、目の前の見慣れた風景を、多様性に満ちた世界へと

変える可能性をひらく」と中村さん。田中さんは、団体の多様な活動や、思いが溢れる中村さんのエネルギー溢る説明に引き込まれながら、「創造力こそが未来への資本」という活動の基本理念に感銘を受けていた。

その後、場所を移して参加した「中小企業のためのクリエイティブ活用セミナー」は、クリエイターのもの見方や過去の課題解決の事例を知ること、新しい価値観を創造するヒントを引き出すという場であり、田中さんは「問題の本質を見つけるためのヒアリングが最も重要であることを学んだ。総務部門として、その学びを活かし社員の声を丁寧に聞きながら、より働きやすくなるように社内環境を整えていきたい」と語った。



地域のファンになってもらう土台づくりを間近で学ぶ

大分産の食とアートと市民が出会う「まつばらマルシェ」では、会場でのイベントサポートを体験。「コンセプトは『ふれる、ひろがる。明日につながる。』その土地ならではのこだわりや特色のある食とアートを通して、作り手の想いや、それが培われてきたストーリーに触れ、交流し学び合うための場となることを目指し準備を進めてきた」と中村さん。

田中さんは、「NPOの活動に参加するのは初めてだったが、皆さんが口頃から地域活性化のために真摯に取り組む姿を見て、周りに自然と人が集まり、そこから新しい何かが生まれてくる流れを肌で感じ

られたことは貴重な体験になった」と感想を語った。

大分空港では、大分県立美術館OPAMの所蔵品を借用して展示しており、大分ならではの美術品を楽しむことができる。「国東に点在するアート作品を見に来た方たちが、『宇宙港』となった大分空港に立ち寄りたり、空港を利用された方が、ふらっとアート巡りをしたくなるようなきっかけを作れたら。国東市をアートで活性化させることは、空港利用者の増加にもつながるので、今後も相乗効果が続くよう、地域のために何ができるかという課題を共有していきたい」と、これからの展望を語ってくれた。

information

企業とNPOの協働推進セミナー 2022 開催！

参加
無料

多様な主体との協働がつながる地域の創生
～ ESGでOITAの未来を創る！～

オンライン同時配信
(Zoom)

【開催日】 12/21 水

【時間】 13:30～16:00

【会場】 J:COMホール大分
3階 大会議室

お問い合わせ

公益財団法人おいた共創基金
TEL-FAX 097-556-3116

参加申込はこちらから

※申込期限
12/12(月)まで



◆講演

「なぜ協働なのか？
ステークホルダー資本主義が
意味すること」

講師：河川 眞理子氏
(立教大学特任教授)



◆参加企業による
「NPO現場体験活動」報告

協働のヒントを探してみませんか？

おいたNPO情報バンク

おんぼ



県内のNPO情報を
集約したポータルサイトです。
ぜひ、ご活用ください！

NPO活動している若者たちを
YouTubeで発信します！

『あなたは何しに
NPOへ？』

おんぼ

令和4年11月～12月にかけて7団体を紹介

